

京都八幡木津自転車道線

(京都府八幡市～木津川市)

京都八幡木津自転車道線は、京都市西京区の渡月橋右岸を起点として、木津川市の泉大橋左岸を終点とする自転車・歩行者専用道路で、多くの自転車愛好家をはじめ、広く一般府民に親しまれているところです。

一方、奈良県及び和歌山県においても、自転車道整備を進めていることから、今回、3府県が連携して観光地などの拠点を結ぶ広域自転車道の整備を進めることとしました。

京都府においては、経年劣化した施設の修繕や安全施設の整備に加えて、山城管内で進めている「お茶の京都」の拠点施設を巡る“京都山城茶いくるライン”の整備とも連携し、これを活用したイベントの実施やサイクリングマップ作成などのPRを行うこととしています。

平成30年度は、引き続き舗装補修工事を進めます。

◎事業概要

全体計画	H29 までの実績	H30 計画
事業期間：H28～H32	事業概要 調査	事業概要 舗装補修工
事業延長： 27km	詳細設計	
幅員： 3.0m	舗装補修工	
総事業費：約6億円	事業費 1.75億円	事業費 0.794億円

◎事業効果

- 府県を跨ぐ広域的に連携した自転車道を整備して、観光客の増加に寄与します。
- 自転車をツールとした観光振興や地域の活性化を図ります。
- 経年変化で損傷した施設の修繕や安全施設の整備により、自転車・歩行者通行の安全性が向上します。

利用状況写真



老朽化した施設の修繕



ひび割れてがたつきのある舗装や消失した区画線の補修

位置図

